

2021年5月7日

各位

会 社 名 エディットフォース株式会社
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 小野 高
問い合わせ先 管理部(TEL:03-6721-8883)

第三者割当増資による資金調達実施のお知らせ

エディットフォース株式会社（本社：福岡県福岡市中央区、代表取締役社長 小野 高）は、2021年5月7日までに、ニュートン バイオキャピタルが運用する NEWTON BIOCAPITAL I Pricaf Privée SA 等を引受先とする第三者割当増資を実施し、総額8億円を調達したことをお知らせいたします。

当社は、世界にも類のない独自の DNA/RNA 編集技術を有するベンチャー企業であり、2015年に KISCO 株式会社と九州大学・中村崇裕教授により設立、その後株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ（「UTECH」）及び QB キャピタル合同会社の支援を得ることで、独自のツールである PPR (pentatricopeptide repeat) タンパク質プラットフォーム技術の開発を行ってきました。本技術は DNA の編集のみならず、RNA の編集を行えるということが他の技術との差別化の大きなポイントであり、広い範囲での応用が見込まれております。また、他の DNA 編集技術とは異なるメカニズムのために知的財産権の面でも差別化出来ます。なお、当社は、2017年からは、創薬分野に注力することとし、2019年までに、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社（「ITV」）、ニュートン バイオキャピタル（NEWTON BIOCAPITAL）、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）、合同会社 K4 Ventures 各社からも出資を受け、現在複数の製薬会社やバイオベンチャーとの提携を通して、PPR の医薬品開発分野における応用に向けての研究開発を推進しています。

今回の資金調達においては、NEWTON BIOCAPITAL をリード投資家として、UTECH、ITV 各社運用ファンドに加え、グローバル・ブレイン株式会社が運用するグローバル・ブレイン7号投資事業有限責任組合および、KDDI 株式会社とグローバル・ブレイン株式会社が共同運営する「KDDI Open Innovation Fund 3号」からも出資いただくこととなりました。今後は、出資いただいた各社の有する幅広いコネクションや専門知識を最大限に活用し、パイプラインの推進、強化、並びに基盤技術のさらなる充実にまい進してまいります。日本発の技術として、国内のみならず、海外の企業との協業等を通じ、まずは早期の医薬品としての開発を強力に進めてまいります。

【出資者】

NEWTON BIOCAPITAL I Pricaf Privée SA
 グローバル・ブレイン7号投資事業有限責任組合
 KDDI Open Innovation Fund 3号
 UTEC3号投資事業有限責任組合
 テクノロジーベンチャーズ[®] 4号投資事業有限責任組合

【エディットフォースについて】

DNA/RNA 編集技術である PPR タンパク質プラットフォーム技術を有するベンチャー企業。

| | |
|-------|---|
| 本社所在地 | 福岡県福岡市中央区天神 1-9-17 福岡天神フコク生命ビル4階 |
| 資本金 | 489,999,240 円 (2021年5月7日時点) |
| 代表取締役 | 小野 高 |
| 取締役 | 大年 寿子 (取締役 CFO) 八木 祐介 (取締役 CTO) 中西 理 (取締役 CSO) 宇佐美 篤 (株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ 取締役) 福田 晃之 (KISCO 株式会社 取締役執行役員) 阿部 剛士 (伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社 取締役副社長) 森 俊介 (TM パートナーズ合同会社 代表社員) Yao Li (NEWTON BIOCAPITAL PARTNERS インベストメント・ディレクター) |
| 監査役 | 小島 靖史 (常勤監査役) 郷治 友孝 (株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ 代表取締役社長) 秋光 泰伸 (KISCO 株式会社 管理本部財務経理部部長) |

【PPR タンパク質プラットフォーム技術について】

PPR は植物で発見された、RNA 及び DNA に配列特異的に結合することで遺伝子の発現制御を行っているタンパク質です。ヒトや酵母にも存在しており、同様の機能を有しています。当社前代表取締役社長の中村崇裕教授 (現在は当社科学顧問)、八木祐介博士らはこの PPR に注目し、配列特異性を決定するメカニズムを明らかにし、標的とする DNA または RNA 配列に結合するタンパク質を作成する技術を確立しました。さらに、酵素タンパク質と融合することで、細胞内外問わず、標的ゲノムや RNA を自在に操作、改変することが可能です。

【KISCO 株式会社について】

KISCO 株式会社は 1921 年の創業以来、化学品、合成樹脂、エレクトロニクス材料、包装材料、バイオテクノロジーなどの幅広い分野にわたって、顧客のニーズに応えるソリューションを提供している専門商社です。国内はもとより、欧米・アジア 各国に 商社拠点、製造拠点を有するグローバル企業であり、先端材料とお客さまとの架け橋としての役割を果たす存在を目指し、その活動領域を広げております。KISCO 株式会社についての詳細は <https://www.kisco-net.co.jp/> をご覧下さい。

【株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTECH) について】

株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTECH) は、2004 年の創業以来、科学技術を軸に資本・人材・英知を還流させ、世界・人類の課題を解決するためのフロンティアを開拓するベンチャーキャピタル投資を行っています。2018 年 4 月に約 242 億円の出資約束を得て設立した UTECH4 号投資事業有限責任組合を含め、累積で約 543 億円となる 4 本のファンドを設立し、114 社に投資を行い、うち 13 社が株式上場、12 社が M&A (合併・吸収) を果たすに至っています。2021 年 5 月 7 日に新たに UTECH5 号投資事業有限責任組合を組成し、一次募集を締め切りました。UTECH5 号ファンドは、2021 年 6 月までに総額 300 億円超となる予定であり、サイエンスおよびテクノロジー領域において国内最大規模のファンドとなります。UTECH 1 号から 5 号ファンドまでの累計コミットメント額は約 850 億円にのぼります。

【ニュートン バイオキャピタルについて】

ニュートン バイオキャピタルは、ベルギーで設立されたベンチャーキャピタルで、ベルギー、オランダ、ドイツ、フランスを含むヨーロッパ大陸の主要国と日本において、慢性疾患の予防と治療に関わるバイオテクノロジーやライフサイエンスのプロジェクトに焦点を当てた投資を行っています。リードインベスターとしてのニュートン バイオキャピタルのアプローチは、リスクを軽減しながら投資家の皆様の価値を生み出すために、有望なアーリーステージのプロジェクトや、有望な技術が存在していながら顧みられない、あるいは過小評価されているレイトステージにあるプロジェクトを支援することです。投資家として豊富な経験を持ち、経営者として長年の実績を積んだニュートン バイオキャピタルのスペシャリストが、プロジェクトの開発段階にあるベンチャー企業を支援します。ニュートン バイオキャピタルの使命は、革新的かつ画期的で、経済的にリーズナブルなソリューションを患者さんに提供することによって、大きな経済的および社会的価値を生み出すことです。ニュートン バイオキャピタルについての詳細は <https://www.newtonbiocapital.com/ja/> をご覧下さい。

【伊藤忠テクノロジーベンチャーズについて】

伊藤忠テクノロジーベンチャーズ (ITOCHU Technology Ventures, Inc.) は、2000 年の設立以来、5 つの独立系ファンドを組成・運営し、国内ベンチャー企業を中心として約 160 社の国内外企

業への投資実績を有しています。投資分野はIT分野を中心に、さまざまな産業分野に変革をもたらすB to B サービス、個人の生活を豊かにするB to C 向けサービス、さらに新産業を創出する革新的技術やサービスなど、さまざまな分野におけるスタートアップ企業への出資と、伊藤忠グループのネットワークも活かした多面的なハンズオン支援を行っております。

【国立研究開発法人 科学技術振興機構について】

科学技術振興機構（略称：JST）は科学技術振興を目的として設立された文部科学省所管の国立研究開発法人です。ネットワーク型研究所として国の科学技術基本計画を推進するため、研究開発戦略、ファンディング、地域創生、人材育成、国際協力など幅広い事業を実施しています。本件は、JSTの研究開発成果の実用化を担うベンチャーへの出資・支援を行う出資型新事業創出支援プログラム SUCCESS の一環として実施しました。<http://www.jst.go.jp/>

【合同会社 K4 Ventures（関西電力グループ）について】

合同会社 K4 Ventures は、総合エネルギー事業、情報通信事業、不動産・暮らし事業において協業により双方の事業成長が見込めるベンチャー企業や、短期的な協業が困難な場合でも、お客さまや社会の課題解決に貢献しうるができる革新的な技術・ビジネスモデル等を有するベンチャー企業を投資対象としている関西電力グループのコーポレート・ベンチャーキャピタルです。自由な発想と高い志を持つベンチャー企業と関西電力グループとの架け橋となり、パートナーとしてベンチャー企業の成長を支援するとともに、関西電力をはじめとしたグループ各社との協業を推進していきます。そして、エネルギー問題、環境問題、人口問題などの社会課題をスピーディーに、そしてイノベティブに解決していきます。

【QB キャピタルについて】

QB キャピタルは、九州地域の大学を中心とした大学の研究シーズ及びシード・アーリー段階の大学発ベンチャーに投資を行っています。また、大学発ベンチャーの企業の成長を支援するだけでなく、大学の研究成果を事業化することによる大学発ベンチャーの企業の創出にも取り組みます。そして、それらの会社を成長段階まで一気通貫でハンズオン支援することで、大学の研究成果の社会還元を促進し、地域における新産業の創出を目指している、九州地域で初の産学連携ファンドです。

【グローバル・ブレイン株式会社について】

グローバル・ブレインは 1998 年に設立され、東京を拠点におきながら、サンフランシスコ、ロンドン、ソウル、シンガポール、ジャカルタに子会社を有する独立系ベンチャーキャピタルです。徹底したハンズオン支援、グローバルなエコシステム、スタートアップと大企業のオープンイノベーションを通して、スタートアップを支援するとともに、新たな産業の創出を目指しており、その運用資産総額は 1500 億円を超えています。シード/アーリーからプレ IPO スタ

ートアップまで 200 社以上の国内外のスタートアップに投資実績があり、うち、累計 IPO・M &A 社数は 72 社となっております(2021 年 4 月現在)。

【KDDI Open Innovation Fund 3 号について】

KDDI Open Innovation Fund は、2012 年に設立。KDDI 株式会社とグローバル・ブレイン株式会社による運営体制で国内外の有望なベンチャー企業を広く支援するコーポレートベンチャーファンドです。現在活動している「KDDI Open Innovation Fund 3 号」は、2018 年に設立し運用総額約 200 億円規模で、エンターテインメント、ホーム、IoT、ビッグデータ、フィンテックなどを注力分野としています。スタートアップに対し積極的な投資と事業支援を行い、イノベーション創出を目指しております。

これまでの投資実績：<https://www.kddi.com/open-innovation-program/koif/portfolio/>

以上